

羅 針 盤			方 策
評価対象	評価項目	具体的数値項目	
I 保護者等との連携	1 学校は、学校の方針や子どもの様子を保護者に伝え、理解を得ていますか。	・学校の方針や学校での子どもの様子がわかると回答する保護者が80%以上である。	・日常的な情報提供に努めます。 ・ホームページの保護者用ログインパスワードの設定を検討します。
	2 保護者は、学校の諸行事に参加していますか。	・授業参観や懇談会、PTA行事に出席している保護者が80%以上である。	・保護者のニーズに応えられるよう、行事内容の検討に努めます。 ・時刻や駐車場の案内、各種行事の開催時期について検討します。
	3 保護者や児童は、学校・先生に連絡や相談がしやすいと思っていますか。	・連絡や相談がしやすいと回答する保護者、児童が80%以上である。	・保護者からの質問や要望には、迅速・ていねいに対応します。
II 確かな学力	4 学校の授業は、分かる授業となっていますか。	・授業がわかると回答する児童、および子どもは授業がわかっていると考える保護者がともに80%以上である。	・きめ細かな指導の工夫に努め、分かる授業を目指して指導法の改善に努めます。 ・教材、教具の工夫改善に努めます。
	5 児童は、家庭で進んで学習や読書をする習慣が身に付いていますか。	・家庭学習や読書を毎日していると回答する児童および保護者がともに90%以上である。	・家庭学習の量・質の検討・改善に努めます。 ・「学びアップ週間」を活用します。
III 豊かな心	6 児童は、学校や家であいさつを進んでしたり、はっきりと受け答えをしたりしていますか。	・進んであいさつや返事ができると回答する児童および保護者がともに80%以上である。 ・児童は進んであいさつや返事ができると回答する教職員が80%以上である。	・教師自ら進んであいさつをし、適切な言葉遣いや聞く態度が育成します。 ・児童の「あいさつ運動」を生かし、子どもの意識を高めるよう努めます。
	7 思いやりのある温かな人間関係が育っていますか。	・友だちを思いやり、仲良く生活できていると回答する児童および保護者がともに80%以上である。 ・児童は友だちを思いやり、仲良く生活できていると回答する教職員が90%以上である。	・思いやりのある言葉や親切な行動を紹介したりして、他者を認める態度の育成に努めます。 ・よりよい仲間作りを児童自身が考えて進める活動を行います。 ・多様な価値観を認められる児童の育成に努めます。
IV 健康・体力	8 児童は、朝食を必ず食べて学校へ行っていますか。	・朝食を必ず食べて登校していると回答する保護者が90%以上である。	・朝食の大切さについて、学級活動や保健指導、栄養士と連携した指導を行います。 ・レシピなど、保護者への資料提供に努めます。
	9 児童は、早寝早起きなど、規則正しい生活の習慣が付いていますか。	・規則正しい生活習慣が身につけていると回答した保護者が80%以上である。 ・児童は規則正しい生活をしていると回答する教職員が80%以上である。	・家庭と連携を図り、健康面だけでなく、学力面からも、基本的な生活習慣の必要性を啓発します。 ・「学びアップ週間」へ向け、生活習慣の指導も併せて行います。
	10 学校は、運動や遊びを通して、健康づくりをする機会をつくっていますか。	・進んで体を動かしていると回答する児童が80%以上である。 ・学校は体育の授業改善や運動できる環境作りができていると回答する教職員が80%以上である。	・体育や休み時間・放課後等で、体を進んで動かす環境づくりを行い、運動の楽しさを味わわせます。
V 安全確保・施設設備	11 学校・家庭・地域では、子どもの安全を守る対策がとれていると思いますか。	・安全対策がとれていると回答する保護者および教職員がともに80%以上である。 ・学校は施設の安全点検や補修、児童の登下校指導など、安全確保の対応が取れていると回答する教職員が80%以上である。	・市・警察等との連携により危険箇所への対応を迅速に行います。 ・安全パトロールを励行します。 ・非常災害時を想定した引き渡し訓練を実施します。
	12 児童は、交通ルールを守り、正しい歩行や自転車の乗り方など、交通安全に気を付けていますか。	・交通ルールを守り、正しい歩行や自転車の乗り方ができていると回答する児童、保護者および教職員が80%以上である。	・護者・地域、警察・市教委等との連携を図りながら、安全教育に力を入れていきます。 ・通学班指導をきめ細かく行います。
	13 保護者は、子どもと通学路の危険箇所や地震時の対応などについて話したり教えたりしていますか。	・通学路の危険箇所や地震時の対応などについて、話したり教えたりしていると回答する保護者が80%以上である。	・通学路に係わる現状と情報を保護者・地域と共有しながら、改善を目指します。
VI 進路・生き方	14 児童が自らの将来について考える機会を設けていますか。	・将来の夢や希望について、親子で話し合う機会を設けていると回答する保護者が80%以上である。 ・児童に将来の夢や希望について考えさせる機会を設けていると回答する教員が80%以上である。	・将来への夢や希望を育てる学習活動を推進します。

--	--	--	--